

③

②日本の歌舞伎

④歌舞伎とは？

④ そもそも歌舞伎の語源は「傾く」と言い、流行の最先端をいく奇抜なファッション、世間の常識はお構いなしの「かぶき者」をまねた扮装で見せる「かぶき踊り」が、歌舞伎のルーツと言われている。始めは遊女の「女歌舞伎（おんなかぶき）」や、前髪が残る少年たちの「若衆歌舞伎」

が始まるが、いずれも風紀を乱すという理由で幕府に禁止された。

次に登場したのが、成人男性中心の「野郎歌舞伎（やろうかぶき）」。

歌舞伎を男性だけが演じる過程で「女方（おんながた）」も生まれ、今日の歌舞伎の基礎ができ上がった。

⑤



歌舞伎の発祥

「かぶき踊り」が出雲の阿国によって京都で始めたと言われるのが1603（慶長8）年、歌舞伎はすでに400年以上の歴史がある。

江戸で歌舞伎が始められたのは、現在の京橋に中村座ができた1624年（寛永元年）といわれている。

⑦



掛け声について

演目のちょうど良いタイミングで掛け声というより、合いの手のようなもの。

- ◆ 特に誰がやってはいけないという決まりはない。
- ◆ ほとんどの方が「大向こうの会」（※）に所属する方々。
- ◆ 会員でないと声をかけてはいけないわけではないが、ほかのお客様に野次や雑音と思われるような場合は止めて貰うよう注意している。

要するに参加資格はないが、演目の流れや基礎知識がしっかり頭の中に入っていないと、掛け声のタイミングや種類が分からないから遠慮願いたいということになる。

⑦



⑧ 顔の隈取（筋隈）

⑥

⑨ ※「大向こうの会」とは？

元々は向こう棧敷の総称歌舞伎の散会の奥に仕切られた席。その席の常連の芝居通が通う席と知られているが、役者や関係者から尊敬をこめて通のことを「大向こう」と呼ぶようになり、大向こうからかかる声そのものを「大向こう」と呼ぶ習慣が生まれた。

①競技者氏名

⑫



⑪

歌舞伎座の歴史

⑫



建物（歌舞伎座）について

- ⑬ 歌舞伎座は、現在第5期であり、初代（第一期）の歌舞伎座は、演劇改良運動に熱心だった福地源一郎が中心となって1889年（明治22年）11月21日に会場。外観は洋風だが、内部は日本風の檜づくりだった。

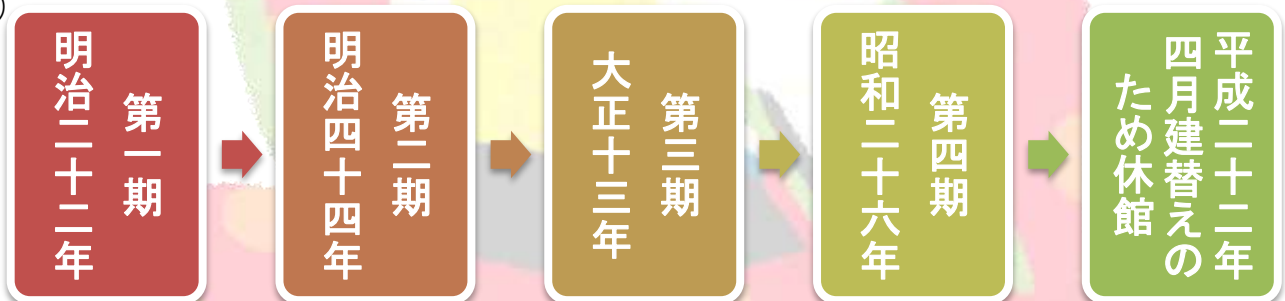
1911年（明治44年）に、純日本式の宮殿風に大改築され、第二期が誕生するが、1921年（大正10年）10月、漏電により焼失。

その後新しい劇場を建設中の1923年（大正12年）9月1日、関東大震災に遭い、工事が一時中断してしまうが3年間の空白の後、1924年（大正13年）12月に第三期歌舞伎座が落成。

しかし、戦時下の1945年（昭和20年）5月の大空襲により、外郭を残して焼失した。戦後、破壊を免れた基礎・側壁・屋根の一部を活用し、修理工事を行った。

物資の乏しい時期だったが、第三期のデザインを再現しながら近代的な設備を取り入れ、1951年（昭和26年）1月に再建された。戦後復興の時代、社会の価値観が大きく変化する中、歌舞伎にとって大変厳しい時代を迎えるが、その間も、歌舞伎座は数多くの名舞台を送り出した。その後、襲名披露興行や海外公演などの評価により歌舞伎は苦しい時代を乗り越えた。今日の隆盛を迎え、2010年（平成22年）4月の興行をもって歌舞伎座は建替えのため休館した。

⑭

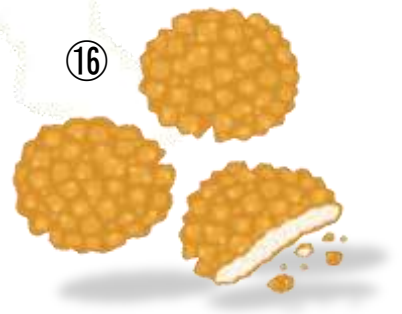


歌舞伎揚げ

- ⑮ その昔、日本で『芝居』といえば『歌舞伎』のことだった。そして、せんべいは我々の食生活に潤いをそえている幾多の菓子類の中でも日本独特の菓子であり、古くから皆に親しまれてきた。

この両方の伝統文化を伝えようと、せんべいの包装袋に歌舞伎で使用されている定式幕〔緞帳〕（萌葱・柿・黒の三色で構成されている一番代表的な幕）の模様を取入れ、せんべいの一枚一枚にも歌舞伎の家紋をデザインしたものを刻印『歌舞伎揚げ』と命名した。現在の歌舞伎揚げは、皆様の嗜好の変化に合わせて、ソフトに仕上げるようになり、特徴である家紋のデザインがはっきりと見えにくくなっているが、以前は堅めに仕上げていたため、家紋のデザインがはっきりと見えていた。

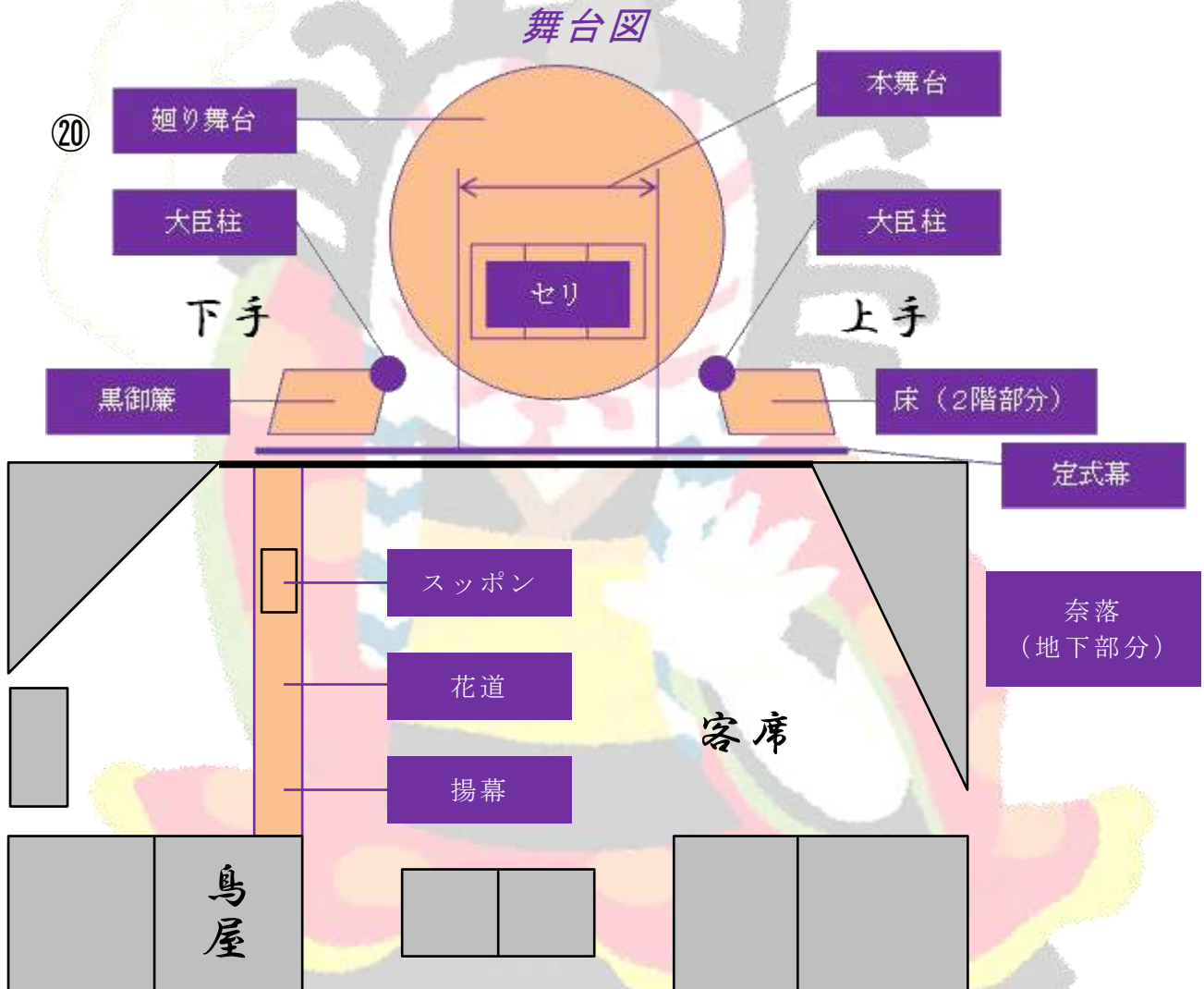
⑯



⑱

⑰歌舞伎座の舞台

- ⑲ 歌舞伎の舞台には様々な機構があり、多様な演出を可能にしている。自在に空間を変え、物語を効果的に伝えることができる歌舞伎が生んだ世界に誇る舞台機構だ。



⑳ 表 1 歌舞伎座の舞台表

上手 (かみて)	下手 (しもて)	本 舞 台	定 式 幕
客先から見て右側の舞台	客先から見て左側の舞台	正面の舞台	舞台と客席を仕切る引き幕
黒 御 簾	セリ (迫り)	廻 り 舞 台	花 道
下座 (げざ) とも言い、演奏する場所	舞台の昇降装置	舞台中央の水平に回転する舞台	進路状の舞台
奈 落	ス ッ ポ ン	揚 幕	鳥屋 (とや)
舞台や花道の床下部分	花道の付け根あたりにある小さなセリ	舞台から見て花道の突き当りにある幕	揚幕の奥にある俳優や乗物の待機場所

③

⑤

Aomori hot spring inn

⑥ Hoshino resort aomoriya

⑦ Aomoriya is an onsen (hot spring) hotel with easy access from JR Hachinohe Station and Misawa Airport. The guest rooms are Japanese or Japanese/Western style for visitors to enjoy the calm Japanese atmosphere.

Dinner is served at the hotel restaurant, which was designed to look like an old Japanese farm house kitchen. Dinner is buffet-style with the



concept of mother's home-cooking. A wide selection of dishes from Japanese, western, and Chinese cuisine are available in addition to local Aomori sake.

The onsen bath features a beech wooden indoor bathtub and an outdoor bath named "Ukiyu", a bath that appears to be floating on the pond.

⑩ Basic Information

⑬	⑫	⑪	Address	56Furumagiyama Misawa-shi Aomori-ken 033-8688
	◆		Tel	050-3786-0022
	◆		Fax	0176-51-2128
	◆		Open	One Day Onsen [Large Bath (Ukiyu, Hibayu)] 8:00~23:00 (Final Admittance 22:00) [CHECK-IN] 15:00~ [CHECK-OUT] ~12:00
	◆		Closed	None
	◆		Price	[One Day Onsen] [Large Bath (Ukiyu, Hibayu)] Adult (Junior High and older) ¥1,500, Child ¥750, Toddler (Under 3) Free [Room Rates] Price Varies by plan
	◆		Wi-Fi	Available
	◆		URL	http://noresoreaomoriya.jp/

⑥ Minamida Onsen Hotel Apple Land

- ⑭ Minamida Onsen Hotel Apple Land is located in Hirakawa city of Minami Tsugaru. The hot spring water composition is rare for the Tohoku region and is categorized as weak alkali hot spring. With a strong water flow directly from the source, the apple outdoor bath and apple foot bath (April ~ November) are gaining popularity.

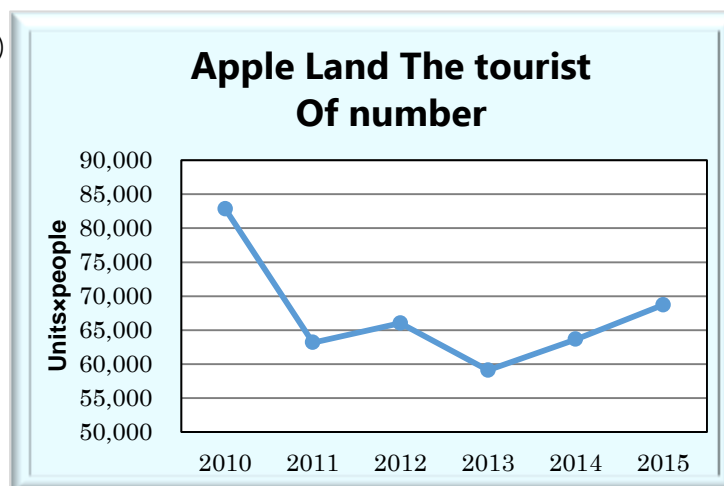
At the “Tsugaru Shokudo Ya-ya do” (Tsugaru style restaurant), guests can savor local cuisine. Every guest room has been decorated to preserve the wa

Japanese

atmosphere and ikebana (Japanese flower arrangement) is arranged by the hostess. As a special service, there are apples grown in Aomori in every room's refrigerator as a gift.



⑮



⑩ Basic Information

⑰ Address	166-3 Iminamida Hirakawa-shi Aomori-ken 036-0114
Tel	0172-44-3711
Open	[Check-in] 15:00~19:30 [Check-out] ~10:00
Closed	None
Price	[Room Rates] Price varies by plan
Wi-Fi	Available
URL	http://www.apple-land.co.jp/